

【生物系】

研究課題名	自然免疫の包括的研究
研究代表者	審良 静男 (大阪大学・免疫学フロンティア研究センター・教授)
研究の概要	自然免疫は、感染した病原体最初に認識し、その排除を行うほか、獲得免疫機構の活性化に重要な役割を果たしている。近年、Toll 様受容体(TLR)の発見を始め自然免疫による病原体認識メカニズムの研究が急速に進んでいる。しかしながら、その分子メカニズムの全体像は未だ明らかではない。本研究では、自然免疫による病原体認識が、炎症を惹起、病原体を排除し更に獲得免疫系を活性化させる過程の分子メカニズム解明を目標とする。このため、遺伝子改変技術、分子イメージング、システムバイオロジーと言った様々な技術を用いて、包括的に自然免疫のシステムを明らかにしていく。
研究者数・期間	4人(平成20年度～平成24年度)